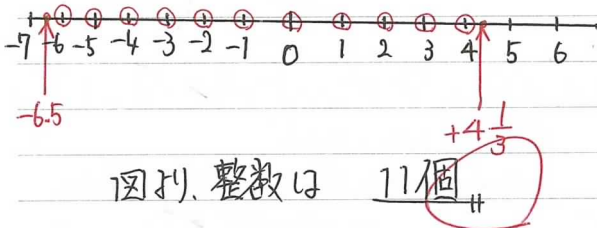


③ 数学ワーク (数学リポート学習) の直しの場合

⑤⑥

2つの数 -6.5 と $+4\frac{1}{3}$ の間には
何個の整数がありますか。

<方針> 図を書いて考える。



⑥④ 絶対値が $\frac{2}{3}$ になる数

0からのキョリ

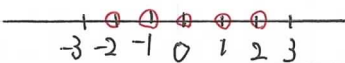
$$+\frac{2}{3}, -\frac{2}{3}$$

↑ 負の数もある!

⑥⑤ 絶対値が3未満の整数

〃

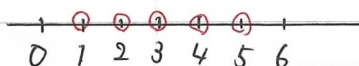
0からのキョリが3より小さい。



図より、 $-2, -1, 0, +1, +2$ //

絶対値が6未満の正の整数

0からのキョリが6より小さい。



図より、 $+1, +2, +3, +4, +5$ //

⑦④ 次の各組の数の大小を
不等号を使って表しなさい。

(1) $1, -5$ $1 > -5$ ✓

(2) $3, 0$ $3 > 0$ ✓

(3) $0, -4$ $0 > -4$ ✓

(4) $-2, -8$ $-2 > -8$ ✓

(5) $-24, -19$ $-24 < -19$ ✓

↑ 数字を書く!

⑦⑤ 次の各組の数の大小を
不等号を使って表しなさい。

(1) $1, -6, 0$ $-6 < 0 < 1$

(2) $-3, -6, -4$ $-6 < -4 < -3$

(3) $0, -0.5, -0.05$ $-0.5 < -0.05 < 0$

(4) $-\frac{3}{7}, \frac{2}{7}, -\frac{5}{7}$ $-\frac{5}{7} < -\frac{3}{7} < \frac{2}{7}$

(5) $\frac{1}{2}, -\frac{1}{3}, -\frac{1}{6}$ $-\frac{1}{3} < -\frac{1}{6} < \frac{1}{2}$

①<②<③ の順で書く!